

Silk Performer 15.0

インストール ガイド

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2014. All rights reserved. Silk Performer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2014 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2013-12-16

目次

はじめに	4
システム要件	4
パフォーマンスとスケーラビリティ マトリクス	5
インストール パッケージの内容	6
Silk Performer のライセンス管理	8
Silk Performer ライセンス ポリシーを生成する	9
ホスト ID を調べる	9
Silk Meter のインストール	9
以前のバージョンの Silk Meter をアンインストールする	10
ライセンス サーバー上へ Silk Meter をインストールする	10
Silk Meter ライセンス サーバーの構成	11
ライセンス サーバーの設定の変更	12
Silk Performer をインストールする	13
完全インストールする	13
エージェントのみをインストールする	15
Silk Performer SOA Edition をインストールする	15
Silk Performer サービス パック リリースへアップグレードする	17
Silk Performer をアンインストールする	17
サイレント モードでのインストール	18
サイレント モードでのアンインストール	19
ShopIt V 6.0 をインストールする	19
Eclipse プラグインをインストールする	20
リモート コンピュータへのエージェント ソフトウェアのインストール	21
リモート インストール	21
エージェント ソフトウェアのインストールおよびアンインストールのためのオプション	21
平均インストール時間	22
シナリオ	22
シナリオ 1 : 1 つのドメインまたはワークグループ	23
シナリオ 2 : 2 つのドメインまたはワークグループ	23
シナリオ 3 : ユーザーがローカルにログオンする	24
シナリオ 4 : インターネットを利用して接続された 2 つの LAN	25
シナリオ 5 : HTTP プロキシを利用して接続された 2 つの LAN	25
シナリオ 6 : SOCKS プロキシを利用して接続された 2 つの LAN	26
トラブルシューティング	26

はじめに

このヘルプでは、Silk Performer ソフトウェアをインストール/アンインストール、および、負荷テスト環境を準備をする際に必要な情報を提供します。事前にインストールが必要なハードウェアやソフトウェアの要件、および、インストールの代替オプションなどについても提供していきます。

Silk Performer をインストールする前に **セットアップ** ウィザードは、Silk Performer をインストールし利用するために必要なソフトウェアがすべてお使いのコンピュータ上に準備できているかを確認します。準備されていない場合、**セットアップ** ウィザードはそれらの欠けているソフトウェアをインストールするための選択肢を提示します。

Silk Performer ソフトウェアは、3通りの形でインストールすることができます。コントローラ コンピュータ上には、マルチマシン コントローラとエージェント ソフトウェアの両方をインストールすることができます。これには、ドキュメントとサンプル ファイルが同梱されています。エージェント コンピュータには、エージェント ソフトウェアのみ必要です。Silk Performer で負荷テストを実行するには、最低 1 台のコントローラ コンピュータ上には、コントローラ ソフトウェアをインストールする必要があります。

このセクションでは、利用可能な各インストール タイプに対して、それぞれ必須または推奨されるインストール オプションについて説明します。

システム要件

以下の表は、Silk Performer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。Silk Performer のパフォーマンスとスケーラビリティの詳細については、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

ハードウェア要件

Silk Performer のエージェント ソフトウェア、もしくはコントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために Silk Performer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最小要件を満たしている必要があります。

表 1 : 負荷テスト

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	1 GB 推奨 (最小)
仮想メモリ	RAM の 3 倍の仮想メモリ
ハード ディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 1 GB。エージェントのみをインストールする場合に 450 MB。 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	TCP/IP を備えた Windows ネットワーク (リモート Silk Performer エージェント コンピュータを利用する場合)
ネットワーク アダプター	10 MBit 推奨 (最小) 高速 Ethernet 推奨

ソフトウェア要件

Silk Performer をインストールして実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。


必要とされる個々のコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、Silk Performer Java Explorer を実行するには、システムに 32 ビット版の Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 のいずれかがインストールされていなければなりません。コンポーネントはそれぞれ該当するベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。

- Internet Explorer 7、8、9、10 (ブラウザ駆動型記録の場合)
- Adobe Acrobat Reader (ドキュメント参照のため)
- Citrix XenApp Client 11.x、12.x または Citrix Receiver (Citrix アプリケーションのテスト用)
- 32 ビット Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 (Java Explorer を使用した Java アプリケーションのテスト用)


パフォーマンスとスケーラビリティ マトリクス

エージェントごとの最大仮想ユーザー数


以下のテーブルに、エージェント マシンのハードウェア リソースと実行する Web アプリケーション テストのタイプに基づく、エージェント コンピュータあたりの推奨最大仮想ユーザー数を示します。

 **注:** SSL を使用したアプリケーションのテストでは、可能な仮想ユーザー数が 35% 減少します。[エラー時に TrueLog を生成する] を有効にしたテストでは、可能な仮想ユーザー数が 30% 減少します。ブラウザレベルの API (Web 低レベル) を使用した Web アプリケーションのテストでは、可能な仮想ユーザー数が 20% 増加します。

システム	OS	Web ビジネス アプリケーション	SSL による Web ビジネス アプリケーション (-35%)	TrueLog On Error (-30%)	SSL による TrueLog On Error	Web 低レベル (+20%)
Intel Xeon Quadcore 3 GHz、16 GB RAM	Windows Server 2008	6500	4225	4550	2958	7800
Intel Core i7 Quadcore 2.8 GHz、8 GB RAM	Windows 7 Enterprise	6500	4225	4550	2958	7800
Intel Core2 Duo 3 GHz、4 GB RAM	Windows 7 Enterprise	4700	3055	3290	2139	5640
Intel Pentium 4 3.2 GHz、2 GB RAM	Windows XP	3900	2535	2730	1775	4680

 **注:** Web ビジネス アプリケーションは、ページレベル API (HTML/HTTP) を使用します。Web 低レベルは、ブラウザレベルの API (HTTP) を使用します。

クラウド エージェントあたりの仮想ユーザー数

 **注:** クラウドベース エージェントあたりの最大仮想ユーザー数は、テスト中のアプリケーションのタイプに関係なく 1,000 となります。

以下のテーブルに、テスト中のアプリケーションのタイプに基づいて、クラウドベースのエージェントで通常サポートされる仮想ユーザー数を示します。

テスト中のアプリケーション	クラウド ベースのエージェントでサポートされる仮想ユーザー数
ブラウザ駆動型負荷テスト	30
Java/.NET	250
セキュア Web (SSL)	600
Web	800

テストパラメータ

上の表の数値は、以下のような特徴を持つ現実的なワークロードを使用して決定したものです。

- リクエストされる全 Web ページのページ構成は、一般的な公開 Web ページ相当とする。
- 仮想ユーザーのページ ビュー間の平均思考時間は 32 秒であった。
- 1 人の仮想ユーザーは、4 つ同時使用接続によってエミュレートされた。

つまり、シミュレートされる仮想ユーザー数は、1 つの一般的な Web サイトに同時にアクセスしている実際のユーザー数に相当し、次のような結果になります。

- ページあたりの平均ヒット数：39
- 平均ページ サイズ：130 KB
- ページ間の平均思考時間：32 秒

Web プロトコル仮想ユーザーのエージェント容量

Silk Performer は以下のパラメータを考慮した公式を使用して、マシンの容量を決定します。

- CPU 数
- CPU ごとのコア数
- CPU 速度
- メモリ サイズ

結果は、対応するパラメータを持つエージェント マシン上で Web プロトコル スクリプトを実行できる仮想ユーザーの数で表されます。

他の仮想ユーザー タイプのエージェント容量

特定のエージェント マシン上で実行可能な仮想ユーザー数を決定するには、特定のテクノロジーの機能の複雑度の値で Web プロトコル仮想ユーザー数に重み付けを行います。テクノロジーの機能の複雑度により、Web プロトコル仮想ユーザーに対する仮想ユーザーの比率が決まります。

Web プロトコル仮想ユーザーの機能の複雑度は 10 に定義されています。機能の複雑度が 20 であれば、Web プロトコル ユーザーの半数の仮想ユーザーを同一のマシン上で実行できることとなります。

サポートされるすべてのテクノロジーの機能の複雑度の値は、<SP インストール ディレクトリ>/AgentPools. にある CapabilityComplexity.xml ファイルに保存されます。



注：一部のテクノロジーでは、CPU やメモリの制限というよりも単に OS の制限事項により、仮想ユーザーの最大数がマシンごとに定義されます。

インストール パッケージの内容

このトピックでは、インストール CD および Web パッケージに含まれているプログラムに関する概要を提供します。Silk Performer を完全インストールするためには、それらのプログラムが必要となります。ユーザーは、**セットアップ** ウィザードを使用して、足りないプログラムをインストールすることができます。コンポーネントを個別にインストールするには、以下で指定された場所から EXE ファイルを実行します。

ShopIt V 6.0

ShopIt V 6.0 サンプル Web アプリケーションを、次のフォルダからインストールします。

¥Extras¥ShopItV60.exe

Silk Meter

Silk Meter を、次のフォルダからインストールします。

¥Silk Meter¥silkmeter-150.exe

このフォルダには、お使いのコンピュータに関する情報の取得を支援するプログラムも含まれています (smHostInfo.exe)。この情報は、Silk Meter ライセンスを取得するためにお客様が Customer Care にお問い合わせいただく際に必要となります。

Silk Performer のライセンス管理

このセクションでは、Silk Performer のライセンス ポリシーを取得し、Silk Meter をインストールする方法について説明します。Silk Meter をインストールするには、管理者権限が必要です。



注: Silk Performer には、Silk Performer ライセンス ポリシーだけでなく、バージョン 2008 以降の Silk Meter も必要となります。

Silk Meter は、ライセンス サーバーごとに 1 回インストールします。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの Silk Meter ライセンス サーバーで、複数の製品のライセンス ポリシーを管理できます。

Silk Performer ライセンス ポリシーを受け取った場合は、ライセンス ポリシーをライセンス サーバーにインストールします。ライセンス ポリシーを受け取っていない場合は、ライセンス ポリシーを生成します。

ライセンス情報

Silk Performer 15.0 には、新たに 15.0 のライセンスが必要です。バージョン 15.0 へのアップグレード処理中に以前のバージョンの Silk Performer を実行する場合、古いライセンスを 90 日間ご利用いただくことができます。

Silk Performer のライセンス モデルは、仮想ユーザー タイプ (VUser タイプ) に基づいています。利用可能な VUser タイプである、Web、標準、プレミアム には、次の Silk Performer のアプリケーションの種類があります。

VUser タイプ	アプリケーションの種類
Web	Web ブラウザ駆動 HTTP(S) (Web ブラウザ低レベル) HTTP(S)/HTML (Web ブラウザ高レベル) HTTP(S)/XML (Web サービス, SOAP) Silverlight モバイル SAP NetWeaver WebDAV (MS Outlook Web Access) 電子メール (SMTP/POP) FTP TCP/IP UDP AMF0/AMF3/FLEX DLL インターフェイス
標準	Web すべてとそれに加えて : .Net Add-On Java Add-On

VUser タイプ	アプリケーションの種類
プレミアム	DB2-CLI Add-On
	OCI Add-On
	ODBC Add-On
	Visual Basic Add-On (Framework)
	ディレクトリ サーバー (LDAP)
	CORBA Add-On
	標準 すべてとそれに加えて :
	GUI レベル テスト (Silk Test 4Test スクリプト)
	Remedy Web ARS
	SAPGUI Add-On for Silk Performer
	Oracle Applications/Forms Add-On
	PeopleSoft Add-On
	Siebel Add-On
	Citrix Add-On
	ターミナル エミュレーション (緑画面) Add-On
	Tuxedo/ATMI Add-On

Silk Performer ライセンス ポリシーを生成する

Silk Performer を実行するには、ライセンス ポリシーが必要となります。ユーザーは、Online License Generator を使用して、ライセンス ポリシーを生成することができます。Online License Generator には、Firefox や Internet Explorer など、SSL 対応ブラウザが必要となります。ライセンス ポリシーの生成手順を電子メールで受信します。手順を受信しなかった場合は、<http://support.microfocus.com> より Customer Care にお問い合わせください。

ホスト ID を調べる

1. ライセンス サーバー上でコマンド プロンプトを開き、コマンド ipconfig/all を入力します。ライセンス サーバーが、接続アドレスを一覧表示します。
2. ホスト ID (お使いの LAN カードの MAC アドレス もしくは 物理アドレス) を確認してください (例 : 00-BF-00-1C-D3-3D)。

Silk Performer のためのライセンス ポリシーを取得するには、この情報を入力する必要があります。



ヒント: システムの設定によっては (仮想マシンや VPN 接続を含む)、複数の MAC アドレスをお持ちの場合もあります。実際の LAN カードのホスト ID であることを確認してください。

Silk Meter のインストール

Silk Performer ライセンス ポリシーをお持ちの場合には、Silk Meter をインストールする際に、そのポリシーをインストールすることができます。Silk Performer ライセンス ポリシーを取得するには、Online License Generator にアクセスして、ライセンス ポリシーを生成します。

Silk Performer ライセンス ポリシーは、Silk Meter をライセンス サーバー上へインストールする時点で、必須というわけではありません。Silk Meter の **User Policy Administrator** を使用して、Silk Performer ライセンス ポリシーを後からインポートすることも可能です。ただし、ライセンス ポリシーは Silk Performer を実行する前にインポートする必要があります。

Silk Meter は、ライセンス サーバーごとに 1 回インストールします。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの Silk Meter ライセンス サーバーで、複数の製品のライセンス ポリシーを管理できます。

Silk Meter ライセンス サーバーの要件

Silk Meter をインストールする前に、*Release Notes* を参照して、お使いのライセンス サーバーが要件を満たしているか確認してください。

以前のバージョンの Silk Meter をアンインストールする

Silk Meter が既にライセンス サーバー上にインストールされている場合には、最新バージョンの Silk Meter をインストールする前に、それをアンインストールしなければなりません。

1. **スタート > プログラム > Silk > Silk Meter > Uninstall** を選択します。
2. **Yes** をクリックして、Silk Meter をアンインストールします。 **Remove Settings** ダイアログ ボックスが開きます。
3. **No** をクリックした場合には、Silk Meter の設定が保持されます。



注目: 現在、Silk Meter ライセンス サーバー上に存在するライセンス ポリシーを維持するには、**No** をクリックしなければなりません。

4. コンピュータを再起動します。

Silk Meter はアンインストールされ、これで、最新バージョンの Silk Meter をインストールする準備ができました。

ライセンス サーバー上へ Silk Meter をインストールする

Silk Meter をインストールする前に、以下の情報を確認してください。

- ユーザー アカウントに管理者権限があること。
 - Silk Meter のインスタンスがライセンス サーバーにインストールされていないこと。
1. Silk Meter の実行可能ファイル `silkmeter-150.exe` を検索して、以下のように適切なステップを実行します。
 - Silk Performer CD を持っている場合は、CD を挿入します。セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行...** を選択し、`<CD ドライブ>:¥Silk Meter¥silkmeter-150.exe` を入力して、Silk Performer セットアップ プログラムを手動で開始します。
 - すでに `< Silk Meter` をダウンロードしている場合は、以下のステップを実行します。
 1. EXE ファイルが保存された場所まで移動します。
 2. その EXE ファイルをダブルクリックします。
 - Silk Meter をダウンロードする場合は、以下のステップを実行します。
 1. <http://supportline.microfocus.com/licensing/silkmeter.asp> にアクセスします。
 2. **Silk Meter15.0** をクリックして、**Save File** をクリックします。
 3. このファイルを保存する場所を指定して、**保存** をクリックします。

代替方法：ブラウザから EXE ファイルをダブルクリックして、ファイルを実行します。

4. EXE ファイルが保存された場所まで移動します。
5. その EXE ファイルをダブルクリックします。

Silk Meter インストール ウィザードが開き、**Copyright Information** ページが表示されます。

2. **Next** をクリックし、続行します。セットアップによって、ファイルが一時ディレクトリに展開されます。
3. **Next** をクリックし、続行します。**使用許諾契約** ページが開きます。
4. 使用権の条項を注意深くお読みください。これらの条項に同意する場合は、**Yes** をクリックして、続行します。**Enter Installation Path and Configuration Directory for Silk Meter Runtime** ページが開きます。
5. Silk Meter をデフォルト ディレクトリにインストールして、デフォルトの %cfg 構成フォルダを使用するには、**Next** をクリックします。**Enter Host Name** ページが開きます。
6. ホスト名およびポートを入力または確認して、**Next** をクリックします。



注: ホスト名は、Silk Meter がインストールされるコンピュータの名前です。

Select Program Folder ページが開きます。

7. **Program Folders** テキスト ボックスで、デフォルトのプログラム フォルダ Silk¥Silk Meter を受け入れるか、または異なるプログラム フォルダを指定し、**Next** をクリックして、続行します。セットアップによって Silk Meter がインストールされます。完了すると、**Install Silk Meter Policy** ページが開きます。
8. 次のいずれか 1 つのステップを行います：

- すでに Silk Performer ライセンス ポリシーがある場合は、**[...]** をクリックして Silk Performer ライセンス ポリシー ファイル license.pol を保存した場所へ移動し、**Open** をクリックします。**Finish** をクリックして、Silk Performer ライセンス ポリシーをインストールします。
- Silk Performer ライセンス ポリシーがない場合は、**Finish** をクリックします。Silk Performer ライセンス ポリシーを受け取ったときにライセンス ポリシーをインポートできます。Silk Performer ライセンス ファイルのインポート手順については、オンラインの License Generator および Silk Performer Runtime のヘルプを参照してください。

View Release Notes ページが開きます。

9. Silk Meter リリース ノートを参照する場合は **Yes** を、リリース ノートを参照しないでインストールを続行する場合は **No** をクリックします。**InstallShield Wizard Complete** ページが開きます。
- 10 **Finish** をクリックしてインストールを完了させます。




重要: セットアップによってコンピュータを再起動することを要求された場合は、コンピュータを再起動します。

Silk Meter ライセンス サーバーの構成

Silk Performer のいずれのバージョンを実行する場合にも、Silk Meter をネットワーク内にあるコンピュータ上にインストールし、構成しなければなりません。

Silk Performer と Silk Meter の間の通信プロセスは、次のファイルおよび変数によって設定されています。

- `SILK_CONFIG_PATH` 環境変数
- CosLicensingService.ref ファイル
- CosPropertyService.ref ファイル
- ls_segue.ref ファイル
- silkmeter.cfg ファイル


 **重要:** これらのファイルは削除しないでください。

Silk Performer セットアップ プログラムが、**Select Silk Meter License Server** ユーティリティのテキストボックスに入力された値を基に、これらのオブジェクトを作成します。

ライセンス サーバーの設定の変更

Select Silk Meter License Server ユーティリティを使用して、ライセンス サーバーの設定を変更または修正します。このユーティリティは Silk Performer のインストールと共にインストールされ、ローカル システム内に、Silk Meter ライセンス サーバーの設定ファイルがあるかどうかを確認します。ファイルが見つければ、ライセンス サーバーの設定とタイプが表示され、ライセンス管理に利用されます。設定データが見つからない場合は、**Select Silk Meter License Server** ダイアログ ボックスがデフォルトの設定と共に表示されます。

1. **スタート > すべてのプログラム > Silk > Silk Performer15.0 管理ツール > ライセンス サーバー構成の変更** を選択します。**Select Silk Meter License Server** ユーティリティが開きます。
2. **Application** リスト ボックスから、ライセンス サーバーを設定する製品を選択します。
3. **Using local or remote server** オプション ボタンをクリックして、Silk Meter ライセンス サーバーを設定します。
4. **License Server Host** テキスト ボックスに、Silk Meter ライセンス サーバーのコンピュータ名を入力します。
ネットワーク管理者が別のポートを定義したのでないかぎり、**Port Number** は変更しないでください。
5. **Apply** をクリックして、ライセンス サーバーの設定を生成します。
6. **Test connection** をクリックして、指定したホスト、ポート上で Silk Meter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。接続に成功すると、**Status** テキスト ボックスに SUCCESS メッセージが表示されます。

 **注:** 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、動作しない場合があります。Silk Meter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

7. **Close** をクリックして、ライセンス サーバーの設定を完了します。

Silk Performer をインストールする

このセクションでは、Silk Performer に対して利用可能なインストール オプションの概要を提供します。

Silk Performer セットアップ プログラムを使用すると、お使いのテスト環境内にある、コントローラ コンピュータにはマルチマシン コントローラとエージェント ソフトウェアを、エージェント コンピュータにはエージェント ソフトウェアをインストールできます。 リモート エージェント コンピュータで Silk Performer を使用する場合は、コントローラ コンピュータを少なくとも 1 つセットアップする必要があります。

インストールを開始する前に、お使いのコンピュータがインストールの事前要件を満たしているかどうか確認してください。 インストール プログラムはシステムを検査して、必要な場合には、足りないソフトウェア パッケージをインストールします。

完全インストールする

作業を開始する前に、Silk Performer の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Performer の CD を CD ドライブに挿入します。

Silk Performer の完全インストールでインストールされる機能は次のとおりです。

- ワークベンチ
- Visual Studio .NET Add-On (Visual Studio がインストールされている場合のみ)
- Performance Explorer
- TrueLog Explorer
- Java Explorer
- .NET Explorer
- Silk Performer エージェント
- すべてのサンプル

1. Silk Performer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Performer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。 セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:¥Setup.exe を入力して、Silk Performer セットアップ プログラムを手動で開始します。

Silk Performer インストール ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。 **使用許諾契約** ページが開きます。

3. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。 **インストール セットの選択** ページが表示されます。

4. **Silk Performer 15.0** インストール セットをクリックして Silk Performer 環境をインストールし、**次へ** をクリックします。 **インストールのカスタマイズ** ページが表示されます。

5. インストールするコンポーネントを選択します。

- **Silk Performer Workbench 15.0**: Java アプリケーションおよび .NET アプリケーションの負荷テストを行えるように Silk Performer 環境をフル インストールする場合は、このオプションを選択します。
- **高度なインストール**: このオプションを選択して、Silk Performer とともにインストールする任意のツールを選択します。

インストール フォルダの選択 ページが表示されます。

6. インストール フォルダを指定して、Silk Performer のショートカット アイコンを作成する場所 (デスクトップ上やクイック起動バー) を選択し、**次へ** をクリックします。

デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します：

- 選択** を選択します。 **フォルダの参照** ダイアログ ボックスが開きます。
- Silk Performer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。



注: Silk Performer は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。

インストール前の要約 ページが表示されます。

7. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います：

- 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
- 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

インストール中 ページの進捗バーにより、インストール処理の状況がわかります。

8. 以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。

- 評価版** - Silk Performer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。使用は 10 仮想ユーザーに制限されています。あとから、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。
- 完全版** - Silk Performer ライセンスが必要な Silk Performer の無制限版をインストールします。

9. インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて、**Silk Meter ライセンス サーバーの選択** ページが開く場合があります。ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、このページが開かない場合は、次のステップに進んでください。以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。

- ローカルまたはリモート サーバーを使用する**：**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、Silk Meter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。**接続のテスト** をクリックして、指定したホスト、ポート上で Silk Meter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがあります。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるからです。



注: 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、動作しない場合があります。Silk Meter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

- スタンドアロン ライセンスを使用する**：Silk Meter をスタンドアロンで実行します。**選択** ボタンを使用して、Silk Meter ライセンス ファイルの場所を指定します。

インストール完了 ページが表示されます。

- 10 **完了** をクリックしてインストールを完了させます。



注: セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で セットアップ ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Performer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

インストールに失敗した場合は、インストール フォルダにあるインストール ログ ファイル Install.log を参照できます。

エージェントのみをインストールする

作業を開始する前に、Silk Performer の実行可能ファイルをダウンロードするか、Silk Performer の CD を CD ドライブに挿入します。

リモート Silk Performer エージェントとして使用する各ホストには、エージェントをインストールする必要があります。エージェントは、リモートコンピュータで Silk Performer スクリプトを実行するために使用されます。

1. Silk Performer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Performer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。セットアッププログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:¥Setup.exe を入力して、Silk Performer セットアッププログラムを手動で開始します。

Silk Performer インストールウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。 **使用許諾契約** ページが開きます。
3. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。 **インストールセットの選択** ページが表示されます。
4. **Silk Performer 15.0 Agent** インストールセットをクリックして Silk Performer エージェントソフトウェアをインストールし、**次へ** をクリックします。 **インストールフォルダの選択** ページが表示されます。
5. インストールフォルダを指定して、Silk Performer のショートカットアイコンを作成する場所 (デスクトップ上やクイック起動バー) を選択し、**次へ** をクリックします。
デフォルトのインストールディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します：
 - a) **選択** を選択します。 **フォルダの参照** ダイアログボックスが開きます。
 - b) Silk Performer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストールフォルダの選択** ページに戻ります。



注: Silk Performer は、ローカルドライブにインストールしなければなりません。

インストール前の要約 ページが表示されます。

6. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います：

- 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
- 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

インストール中 ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。

7. **完了** をクリックしてインストールを完了させます。



注: セットアップウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システムライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由でセットアップウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Performer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

Silk Performer SOA Edition をインストールする

次の機能が、Silk Performer SOA Edition と共にインストールされます。

- SOA Workbench
- Visual Studio .NET Add-On (Visual Studio がインストールされている場合のみ)

- Performance Explorer
- TrueLog Explorer
- Java Explorer
- .NET Explorer
- Java のサンプル
- .NET のサンプル
- Silk Performer エージェント

1. Silk Performer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Performer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。 セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合、 **スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、 <CD ドライブ>:¥Setup.exe を入力して、Silk Performer セットアップ プログラムを手動で開始します。


Silk Performer インストール ウィザードが開き、 **著作権情報** ページが表示されます。

2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。 **使用許諾契約** ページが開きます。
3. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。 使用許諾契約の条件に同意する場合は、 **使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、 **次へ** をクリックします。 **インストール セットの選択** ページが表示されます。
4. **Silk Performer 15.0 SOA Edition** インストール セットをクリックして Silk Performer SOA Edition をインストールし、 **次へ** をクリックします。 **インストールのカスタマイズ** ページが表示されます。
5. インストールするコンポーネントを選択します。

- **Silk Performer 15.0 SOA Edition** : Java アプリケーションおよび .NET アプリケーションの負荷テストを行えるように Silk Performer SOA Edition 環境をフル インストールする場合は、このオプションを選択します。
- **高度なインストール**: Java アプリケーションの負荷テストを行うツールや .NET アプリケーションをテストするためのツールを個別にインストールする場合は、このオプションを選択します。

インストール フォルダの選択 ページが表示されます。

6. インストール フォルダを指定して、Silk Performer のショートカット アイコンを作成する場所 (デスクトップ上やクイック起動バー) を選択し、 **次へ** をクリックします。
デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します :
a) **選択** を選択します。 **フォルダの参照** ダイアログ ボックスが開きます。
b) Silk Performer をインストールするフォルダを指定し、 **OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。

 **注:** Silk Performer は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。

インストール前の要約 ページが表示されます。

7. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います :

- 設定を変更するには、 **前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
- 必要な設定を終えたら、 **インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

インストール中 ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。


8. 以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、 **次へ** をクリックします。

- **評価版** - Silk Performer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。 使用は 10 仮想ユーザーに制限されています。 あとから、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。
- **完全版** - Silk Performer ライセンスが必要な Silk Performer の無制限版をインストールします。

9. インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて、 **Silk Meter ライセンス サーバーの選択** ページが開く場合があります。 ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、こ

のページが開かない場合は、次のステップに進んでください。以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。


- **ローカルまたはリモート サーバーを使用する**： **ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、Silk Meter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。 **接続のテスト** をクリックして、指定したホスト、ポート上で Silk Meter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがあります。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるからです。

 **注**: 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前で指定すると、動作しない場合があります。Silk Meter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

- **スタンドアロン ライセンスを使用する**： Silk Meter をスタンドアロンで実行します。 **選択** ボタンを使用して、Silk Meter ライセンス ファイルの場所を指定します。

インストール完了 ページが表示されます。

10完了 をクリックしてインストールを完了させます。

 **注**: セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で セットアップ ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、Silk Performer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。


Silk Performer サービス パック リリースへアップグレードする

Silk Performer のメジャーおよびマイナー リリースは同一コンピュータにインストールできます。たとえば、バージョン 2010 とバージョン 2010 R2 は同一コンピュータ上に存在できます。ただし、リリース バージョンとサービス パック リリース は同一コンピュータにインストールできません。

マイナー リリースからサービス パック リリースにアップグレードする場合は、既存のマイナー リリースを削除してから、サービス パック リリースをインストールする必要があります。

Silk Performer サービス パック リリースにアップグレードするには、次のステップを実行します。

1. 現在インストールされている Silk Performer を削除します。プロジェクトのディレクトリはこの手順の途中に削除されません。

 **注**: インストールした Silk Performer エージェントも同様に削除します。

2. 新しい Silk Performer サービス パックをインストールします。

Silk Performer をアンインストールする


削除機能は、指定されたソフトウェア パッケージ (すべてのファイル、およびレジストリ エントリを含む) をコンピュータから削除します。

1. Windows の **プログラムの追加と削除** ウィンドウを開きます。
2. Windows で自動的にアンインストールできるソフトウェアのリストから、Silk Performer15.0 を選択します。

3. **アンインストールと変更** をクリックします。 **Silk Performer15.0 インストールの変更** ウィザードが開きます。
4. **次へ** をクリックします。 **機能を削除する** ページが表示されます。
5. **次へ** をクリックして、アンインストールを開始します。進捗バーにより、アンインストール処理の状況がわかります。 **アンインストール完了** ページが表示されます。
6. **アンインストール完了** ページに、削除できなかったアイテムの情報が表示されます。通常これらは、削除すべきでない共有ファイルです。Silk Performer で作業したときに作成されたファイル (Silk Performer プロジェクトなど) も削除されません。 **完了** をクリックしてアンインストールを完了させます。

サイレントモードでのインストール

セットアッププログラムでは、ユーザーが対話的に入力しないで製品をインストールするためのオプションが用意されています。このオプションは、「サイレントモードインストール」と呼ばれており、Silk Performer のインストールにも使用できます。この機能は特に、LAN やインターネット上で、リモートインストールツールなどを介してソフトウェアを配布する場合などに便利です。

1. インストールパッケージをサイレントモードで実行するようカスタマイズする前に、インストール先コンピュータのハードドライブ上にあるディレクトリに、インストールファイルを準備する必要があります。Silk Performer インストール CD からインストールパッケージを提供するには、CD の内容をお使いのコンピュータのハードドライブ上にある空のディレクトリにコピーします。
2. ファイルをコピーしたフォルダで、ファイル `silentinstall.properties` を探し、テキストエディタでこれを開きます。以下のパラメータを変更できます。
 - `CREATE_DESKTOP_ICON` : デスクトップに Silk Performer アイコンを作成する場合は 1、作成しない場合は 0 に設定します。
 - `CREATE_QUICKLAUNCH_ICON` : クイック起動バーに Silk Performer アイコンを作成する場合は 1、作成しない場合は 0 に設定します。
 - `SILKMETER_LICENSESERVER_HOST` : Silk Meter ライセンスサーバーをホストするコンピュータの名前を指定します。
 - `SILKMETER_LICENSESERVER_PORT` : Silk Meter ライセンスサーバーがリスンするポート番号を指定します。
 - `CHOSEN_INSTALL_SET` : 以下のインストールセットのいずれか 1 つを指定します。
 - `ENTERPRISE` - Silk Performer 環境を完全インストールします。
 - `SOA` : Silk Performer SOA Edition をインストールします。
 - `Agent` : Silk Performer エージェントソフトウェアのみをインストールします。
 - `USER_INSTALL_DIR` : Silk Performer をインストールするフォルダを指定します。
 - `USER_INPUT_RESULT_EVAL` : 1 に設定して Silk Performer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 45 日間使用できます。
 - `USER_INPUT_RESULT_FULL` : 1 に設定して Silk Performer の無制限版をインストールします (Silk Performer ライセンスが必要です)。
 **注:** `USER_INPUT_RESULT_FULL` または `USER_INPUT_RESULT_EVAL` のいずれかを 1 に設定する必要があります。その他は 0 に設定してください。
 - `PACKAGE` : リモートエージェントインストーラパッケージファイルの名前。このパラメータは、リモートエージェントにホットフィックスをインストールする場合に設定する必要があります。また、ホットフィックスファイルの EXE の名前と一致させる必要があります。ホットフィックスパッケージが `perfRsManager.exe` と同じフォルダにない場合は、完全修飾パスで名前を指定してください。
3. ファイル `silentinstall.properties` を保存します。

4. ファイル silentinstall.properties および Setup.exe が常駐するフォルダで、コマンドライン プロンプトを開き、以下のコマンドを入力します。

```
Setup.exe -f c:¥<your directory>¥silentinstall.properties
```

Silk Performer は silentinstall.properties ファイルで定義されたオプションとともにインストールされています。

サイレントモードでのアンインストール

Silk Performer をサイレントモードでアンインストールすることにより、ユーザー入力なしでアンインストールを行えます。

1. Windows の **プログラムの追加と削除** ウィンドウを開きます。
2. Windows で自動的にアンインストールできるソフトウェアのリストから、Silk Performer15.0 を選択します。
3. **アンインストールと変更** をクリックします。

Silk Performer ソフトウェア パッケージが、ユーザーによる操作がなくてもコンピュータから削除されません。

ShopIt V 6.0 をインストールする

Silk Performer のサンプル Web アプリケーションが、ShopIt V 6.0 です。ShopIt V 6.0 は、シンプルな e コマース Web サイトをシミュレートするもので、オンライン購入のシミュレーションに使用できる キャンピング用品カタログを備えています。このアプリケーションを使用すると、Silk Performer の Web アプリケーション機能を試すことができます。ShopIt V 6.0 は、不明な Web リンク (商品の在庫切れが原因) やセッション エラーなどのエラーを生成するように作られています。

ShopIt V 6.0 をインストールする前に リリース ノート を参照し、お使いのシステムで ShopIt V 6.0 の使用がサポートされているか確認してください。

ShopIt V 6.0 セットアップは、次の場所から利用できます。

- Silk Performer のインストール CD ¥ Extras ¥ ShopItV60.exe
 - Web パッケージ：抽出された Web パッケージを保存した場所で、¥ Extras ¥ ShopItV60.exe を探してください。
1. インストール CD の ¥ Extras フォルダ、またはダウンロードした場所にある、ShopItV60.exe ファイルをダブルクリックします。



注: ShopIt V 6.0 では、IIS (Internet Information Server) が ShopIt V 6.0 をインストールするコンピュータにインストールされていることが必要です。IIS 7 では、Role Services ASP と ISAPI Extensions もインストールします。

InstallShield によるインストールの準備ができると、**Welcome** ページが開きます。

2. **次へ** をクリックします。 **Choose Destination Location** ページが開きます。
3. デフォルトのインストールディレクトリを変更するには、**Browse** をクリックし、**Choose Folder** ダイアログ ボックスを開きます。

デフォルトのインストール先が、*Destination Folder* セクションに表示されます。

ShopIt V 6.0 をインストールするフォルダを指定して、**OK** をクリックして前のダイアログ ボックスに戻ります。

4. **Next** をクリックして、インストールプロセスを続行します。

Web アプリケーションの仮想ディレクトリの名前をエントリ フィールドに入力します。これは Web サーバー上に作成されるディレクトリの名前です。 **Next** をクリックし、続行します。

Specify Virtual Directory ダイアログ ボックスが開きます。

5. セットアップによりファイルがインストールされ、IIS で ShopIt V 6.0 Web アプリケーションが実行されるように設定されます。完了すると、**Installation Complete** ダイアログ ボックスが開きます。

6. **Installation Complete** ダイアログ ボックスで、**Finish** をクリックします。ShopIt V 6.0 Web アプリケーションをインストールしたコンピュータで使用する準備ができました。選択した Web ブラウザで次の URL を入力して、ShopIt V 6.0 にアクセスできます。

```
http://<computer name>/<virtual directory name>/
```

例：

コンピュータ名が JohnSmith で、仮想ディレクトリのデフォルト値 ShopItV60 を変更していない場合、URL は次のようになります。

```
http://JohnSmith/ShopItV60/
```

あるいは、インストールしたコンピュータから ShopIt V 6.0 にアクセスする場合は、次の URL でも動作します。

```
http://localhost/ShopItV60/
```

7. IIS 7 では、仮想ディレクトリを IIS に手動で追加します。

- エイリアス：ShopItV60
- 物理パス：ShopIt のディレクトリをインストールします。

Eclipse プラグインをインストールする

プラグインを実行するコンピュータには、Eclipse SDK および Silk Performer がインストールされている必要があります。さらに、Silk Performer をコンピュータで少なくとも 1 回実行しておく必要があります。

1. 標準的なプラグイン インストール手順で、Eclipse SDK (**ヘルプ** > **ソフトウェア更新**) から Eclipse プラグインをインストールします。

Eclipse にプラグインをインストールする方法について不明な点がある場合は、Eclipse のドキュメントを参照してください。

2. 追加するサイトの確認が表示されたら、Silk Performer Extras フォルダに含まれるサイトを指定します。

Extras フォルダは Silk Performer インストール フォルダにあります。

3. Silk Performer Extras ディレクトリ内の Eclipse プラグイン ディレクトリ (.../Extras/eclipseplugin/) を参照して選択します。

4. **Group items by category** チェック ボックスがオンになっていないことを確認します。

5. Silk Performer Eclipse プラグインが一覧表示されたら、新しいローカル サイトのプラス記号をクリックして、内容を展開します。

6. プラグイン機能 (**Silk Performer フィーチャー**) のチェック ボックスをオンにして、**インストール** をクリックします。**インストール** ダイアログ ボックスが開きます。


7. **次へ** をクリックします。**インストール** ダイアログ ボックスに使用許諾契約の説明が表示されます。

8. 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**完了** をクリックします。

9. **はい** をクリックして、Eclipse ワークベンチを再起動します。Eclipse ワークベンチが再起動すると、Eclipse ワークベンチに Silk Performer のメニュー エントリが表示されます。

リモートコンピュータへのエージェントソフトウェアのインストール


Silk Performer にはコマンドライン ツールが付属していて、ユーザーの Windows ドメインまたはワークグループ内のリモート コンピュータに Silk Performer エージェント ソフトウェアをセットアップできます。

 **重要:** Windows Server 2003 と Windows XP Professional : **Guest のみ - ローカル ユーザーが Guest として認証する** ポリシーが有効である場合、ローカル システム アカウントのユーザーに guest アカウント利用を強制されないよう、Windows 管理者にこの設定を変更するよう依頼してください。このようにしない場合は、Silk Performer エージェント インストールに失敗します。コンピュータがワークグループに参加している場合、この **Guest のみ - ローカル ユーザーが Guest として認証する** ポリシーは、デフォルトで有効になっています。

リモートインストール

Silk Performer コマンドライン ツールを使用すると、リモート コンピュータ上にエージェントソフトウェアをインストールできます。リモート コンピュータからエージェントソフトウェアをアンインストールすることもできます。リモート コンピュータは、インターネット上の任意の場所に配置することができます。

リモート エージェントのセットアップ コマンドライン ツールの使用に関してヘルプが必要な場合は、パラメータを指定しないで、perfRsManager.exe ツールを呼び出します。

 **注:** コマンドライン ツールは Silk Performer のインストール サブディレクトリから起動する必要があります。

次のような情報が表示されます。

使用方法 perfRsManager -<mode> -host <host name> {-option {values} }

-<mode>

- -i : エージェントソフトウェアをリモート コンピュータにインストールまたは再インストールします。
- -r : エージェントソフトウェアをリモート コンピュータからアンインストールします。

-host host name : リモートコンピュータのホスト名 (または IP アドレス)。

エージェントソフトウェアのインストールおよびアンインストールのためのオプション

エージェントソフトウェアをインストールまたは削除するには、次のオプションを利用します。

log ログ ファイル spRsManager_<hostname>.log を、カレント ディレクトリに書き込みます。たとえば、エージェントソフトウェアを lab15 ホストにインストールした場合、spRsManager_lab15.log ファイルが生成されます。

user Windows ドメイン ユーザーの名前。リモート アクセスでは、リモート コンピュータで適切な権限を持つユーザーを指定する必要があります。現在のユーザー名でリモート コンピュータにアクセスする場合は、このパラメータを省略します。

domain 指定されたユーザーが属する Windows ドメインの名前。ユーザーが、インストールを起動したコンピュータと同じドメインに属する場合は、このパラメータを省略します。

- pwdUser** 指定したユーザーのパスワード。パスワードが不要な場合は、このパラメータを省略できます。
- port** リモート エージェント コンピュータが応答するポートの番号。デフォルトのポート番号は 19200 です。
- ssl** リモート エージェント コンピュータとの通信に SSL を使用します。SSL を使用する場合、リモート エージェント コンピュータとは、セキュアな接続のためのデフォルトポート (ポート 19201) で通信します。エージェント コンピュータがそれとは別のポートに 応答する場合は、そのポート番号を `-port` パラメータで指定する必要があります。
- httpProxy** リモート コンピュータとの通信に利用される HTTP プロキシの名前とポート番号。次の構文を使用します: `-httpProxy <host name> <port number>`。
- socksProxy** リモート コンピュータとの通信に利用される SOCKS プロキシの名前とポート番号。次の構文を使用します: `-socksProxy <host name> <port number>`。
- pwdService** リモート コンピュータ上のエージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するためのパスワード。

例

```
perfRsManager -i -host deepblue -log -domain intra
                -user nobody -pwdUser 1234

perfRsManager -i -host deepblue -user alex -domain test
                -pwdUser 1234

perfRsManager -i -host 192.168.20.11

perfRsManager -i -host deepblue -log -ssl -port 19251
                -socksproxy 192.168.20.111 1080
                -pwdService 1rt34xy

perfRsManager -r -host deepblue -httpproxy proxy1 8080 -log
```

平均インストール時間

次の表では、特定のモデム タイプごとにリモート エージェントのセットアップにかかるおおよその時間を示しています。

モデムのタイプ	セットアップ時間
56 kbps	37 分
64 kbps	34 分
128 kbps	16 分
256 kbps	8 分
512 kbps	4 分

シナリオ

このセクションでは、さまざまなネットワーク環境において、リモート エージェントのセットアップを利用して、Silk Performer エージェント ソフトウェアをリモート コンピュータへインストール、再インストール、およびアンインストールする方法について説明します。

- シナリオ 1: コントローラとエージェント コンピュータが同一の Windows ドメインまたはワークグループにある。
- シナリオ 2: コントローラとエージェント コンピュータが別の Windows ドメインまたはワークグループにある。
- シナリオ 3: コントローラ コンピュータを管理するユーザーはローカルにログオンし、それゆえ、ドメインにはログオンしない。
- シナリオ 4: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。
- シナリオ 5: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは HTTP プロキシ経由で通信する必要がある。
- シナリオ 6: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは SOCKS プロキシ経由で通信する必要がある。

シナリオ 1: 1 つのドメインまたはワークグループ

シナリオ 1 では、コントローラとエージェント コンピュータが同一の Windows ドメインまたはワークグループにあります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、またはアンインストールできます。

エージェント ソフトウェアをインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>
-pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

シナリオ 2: 2 つのドメインまたはワークグループ

シナリオ 2 では、コントローラとエージェント コンピュータが別の Windows ドメインまたはワークグループにあります。

コントローラ コンピュータから、リモート ドメインまたはワークグループ (<domain name>) にあるエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、およびアンインストールできます。エージェント ソフトウェアをインストールするには、エージェント コンピュータがあるドメインまたはワークグループにおいて管理者権限のあるユーザー (とそのパスワード) を指定する必要があります (<user name>、<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -user <user name>
-domain <domain name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアを再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -log
```



注:

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

コンピュータからエージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

シナリオ 3 : ユーザーがローカルにログオンする

シナリオ 3 では、ユーザーは、コントローラ コンピュータにローカルでログオンし、ドメインにはログオンしません。

コントローラ コンピュータから、リモート ドメインまたはワークグループ (<domain name>) にあるエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、およびアンインストールできます。エージェント ソフトウェアをインストールするには、エージェント コンピュータがあるドメインまたはワークグループにおいて管理者権限のあるユーザー (user name) と、そのパスワード (password) を指定する必要があります。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -user <user name>
                -domain <domain name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

シナリオ 4 : インターネットを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 4 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。

エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それを知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -ssl -log
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -ssl -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合には、-log パラメータを省略します。

シナリオ 5 : HTTP プロキシを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 5 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは HTTP プロキシ経由で通信する必要があります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。通信は、HTTP プロキシ経由で行われます (<proxy name>, <proxy port>)。エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<agent port>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それを知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -httpProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -httpProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

シナリオ 6 : SOCKS プロキシを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 6 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは SOCKS プロキシ経由で通信する必要があります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の Silk Performer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。通信は、SOCKS プロキシ経由で行われます (<proxy name>、<proxy port>)。エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<agent port>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -u -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -socksProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -socksProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

トラブルシューティング

このセクションでは、リモート エージェントのセットアップ中に表示される可能性があるエラー メッセージと、その解決 (回避) 方法のリストを示します。

エラー名	説明 / 解決方法
PerfORB: 23	接続を確立できませんでした。可能性のある理由： <ul style="list-style-type: none">リモート コンピュータの Silk Performer エージェント サービスが実行されていません。正しくないポート番号を指定している可能性があります。 解決策: リモート コンピュータの Silk Performer エージェント サービスを起動します。
PerfORB : 29	ORB はダウンしています。接続が不明な理由で切断されました。 解決策: リモート エージェントのセットアップを再実行します。
Remote Setup: 4	リモート コンピュータで新しいバージョンの Silk Performer が検出されました。

エラー名	説明 / 解決方法
Remote Setup: 5	<p>解決策: 前のバージョンの Silk Performer をインストールしないでください。</p> <p>リモート コンピュータに Silk Performer エージェントソフトウェアが既に存在します。 Silk Performer 4.0 (以上) がリモート コンピュータに存在しない場合にのみ、エージェントソフトウェアをインストールできます。</p>
Remote Setup: 6	<p>解決策: リモート コンピュータにエージェントソフトウェアをインストールするのではなく、アップグレードします。</p> <p>リモート コンピュータに Silk Performer コントローラソフトウェアが既に存在します。 Silk Performer 4.0 (以上) がリモート コンピュータに存在しない場合にのみ、エージェントソフトウェアをインストールできます。</p>
System: 32	<p>解決策: リモート コンピュータにエージェントソフトウェアをインストールするのではなく、アップグレードします。</p> <p>ファイルが別のアプリケーションで使用されているため、リモート エージェントのセットアップが特定のファイルにアクセスできません。</p> <p>解決策:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイルがアクセスしているアプリケーションを終了して、リモート エージェントのセットアップを実行します。 • ファイルがシステム プロセスによりロックされている場合は、コンピュータを再起動してからリモート エージェントのセットアップを再び実行します。
System: 53	<p>ネットワークパスが見つかりませんでした。 リモート コンピュータでレジストリ サービスが実行されていない可能性があります。</p> <p>解決策: リモート コンピュータのレジストリ サービスを起動します。</p>
System: 1219	<p>入力した認証情報が、既存の認証情報セットと競合しています。 対象コンピュータへのネットワーク接続が既に存在しています。 この接続は異なるユーザーとパスワードの組み合わせで確立されました。</p> <p>解決策: 次の DOS コマンドを実行して接続を切断します。 net use ¥¥<machine name> /delete</p> <p>接続が実際に切断されたかどうかを確認するには、次の DOS コマンドを実行します: net use</p>
System: 10054	<p>既存の接続がリモート コンピュータにより切断されました。 56 kbps より遅いモデムを使用しているときは、タイムアウトが発生した可能性があります。</p>

索引

記号

仮想ユーザー
最大数 5
パフォーマンス
スケーラビリティ 5

C

CD インストール 6

E

Eclipse プラグイン
インストールする 20

H

HTTP プロキシ
インストールのシナリオ 25

S

ShopIt サンプル Web アプリケーション 19
Silk Meter
アンインストール 10
インストール 9
構成を変更する 11
接続のテスト 12
ライセンス サーバーのインストール 10
ライセンス サーバーの変更 11
Silk Performer
エージェントのみのインストール 15
SOA Edition
インストール 15
SOCKS プロキシ
インストールのシナリオ 26

W

Windows インストーラ サービス 17

あ

アップグレード
サービスパックへのアップグレード 17
アンインストール
Silk Meter 10
エージェント ソフトウェア 21
サイレントモード 19

い

インストール
ShopIt サンプル Web アプリケーション 19

Silk Performer 13
SOA Edition 15
アンインストール 17
エージェント ソフトウェアのトラブルシューティング
26
概要 4, 13
サイレントモード 18
サイレントモードでのアンインストール 19
パッケージの内容 6
リモート エージェント セットアップの平均時間 22
インストールした機能の削除 17
インストールする
エージェント ソフトウェア 21

え

エージェント ソフトウェア
1つのドメインまたはワークグループ経由のインストール 23
2つのドメインまたはワークグループ経由のインストール 23
HTTP プロキシ経由のインストール 25
SOCKS プロキシ経由のインストール 26
インストール環境のシナリオ 22
インストールするまたはアンインストールする 21
インターネット経由のインストール 25
リモート コンピュータへのインストール 21
ローカル インストール 24
エージェントのみのインストール
Silk Performer 15
平均インストール時間 22

か

概要
Silk Performer のインストール 13
はじめに 4

さ

サービスパックへのアップグレード 17
サイレントモード
アンインストール 19
インストール 18

と

トラブルシューティング 26

ふ

フル インストール
インストール 4, 6, 13, 15, 17-19, 22, 26

ほ

ホスト ID 9

5

ライセンス
概要 8
接続のテスト 12

ポリシーの生成 9
ライセンス サーバー
構成を変更する 11
要件 9
ライセンス ポリシーの生成 9